

しょう 障がいの とくせい おう 特性に応じた いしそつうしゅだん 意思疎通手段

しょう しゅべつ ていど いしそつうしゅだん
障がいの種別や程度によって、意思疎通手段は
ひと ちが あいて いしそつうしゅだん
人それぞれ違います。相手にあった意思疎通手段
かくにん いしそつう はか
を確認し、意思疎通を図りましょう。

しかくしょう 視覚障がい

おんせいげんご 音声言語



おんやく 音訳

しよせき しかく
書籍などの視覚
じょうほう おんせい
情報を音声で
ろくおん
録音する



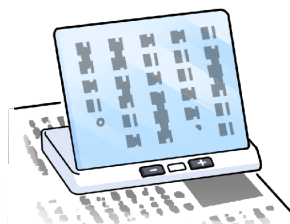
てんじ 点字

へいめん も あ
平面から盛り上が
った6つの点によ
もじ ひょうげん
り文字を表現する



かくだいもじ 拡大文字

ぶんしやう もじ
文章などの文字
おお か
が大きく書かれ
たもの



もう 盲ろう

ほちやうき かつやう 補聴器の活用



て が もじ 手書き文字

もう しや て
盲ろう者の手
のひらに文字
か
を書く



しよくしゅわ 触手話

しゅわ かたち
手話の形を
て さわ
手で触って
よ と
読み取る



ゆびてんじ 指点字

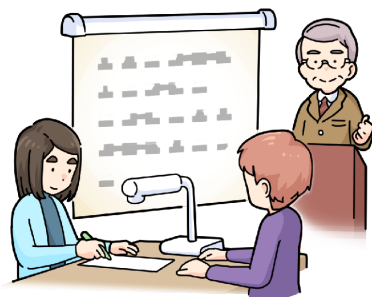
もう しや ゆび
盲ろう者の指を
てんじ
点字タイプライ
ターのキーの
か ちよくせつ
代わりに直接たたく



ちやうかくしょう 聴覚障がい

ようやくひつき 要約筆記

はつげんしゃ はなし
発言者の話を、
ば ようやく
その場で要約し
か あらわ
書き表す



しゅわ 手話



ゆびもじ 指文字

て かたち しよきげんご もじ
手の形を書記言語の文字
たいおう しかくげんご
に対応させた視覚言語

くうしよ 空書

ひとさ ゆび くうしゅ もじ か
人差し指で空中に文字を書く

こうわ 口話

くちびるの動きによって
ひょうげん つた かた
表現する伝え方



ひつだん 筆談

そうご もじ か
相互に文字を書い
いし つた あ
て意思を伝え合う



ほちやうき かつやう 補聴器の活用

ざんぞんちやうりよく い
残存聴力を活かし、補聴器や
じんこうないじ き おきな
人工内耳により聞こえを補う



しんけいなんびやう どう 神経難病(ALS等)

いしでんたつそうち 意思伝達装置

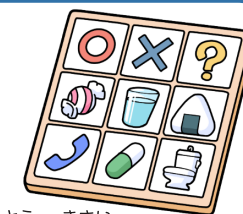
からだ うご
わずかな身体の動きを
かんち
感知するスイッチなどに
そうさ もじ おんせい
より操作し、文字や音声
いし つた きき
で意思を伝える機器



おんせい げんご きの うしょう どう 音声・言語機能障がい等

コミュニケーションボード

え す にちじやうせいかつ ひつやう ことがらとう きさい
絵や図などにより、日常生活に必要な事柄等が記載
されているボードを指で指しながら意思を確認する



ひやうじやう 表情



みぶ てぶ 身振り・手振り

ひつだん だいどく 筆談 代読

おんせいげんご
音声言語

いしそつう さい はいりよ ひつやう 意思疎通の際に配慮が必要なこともあります

ちてきしょう 知的障がい

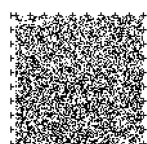
せいしんしょう 精神障がい

はったつしょう 発達障がい

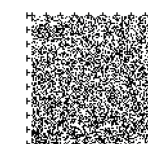
こうじのう きのうしょう しつごしょうとう 高次脳機能障がい(失語症等)

- 内容が理解できるよう分かりやすい言葉で話す。
- おだやかな口調で、安心感を与える対応を。
- 落ち着いた、ゆっくりとしたペースで聞く。
- 感覚が過敏な方には静かな場所で話をする。

- 複雑な内容を伝える時は文字や絵で説明。
- 「はい」「いいえ」で答えられる質問をする。
- 文章の漢字などにふりがなをつける。
- あいまいな表現、抽象的表現は使わず、話は短く、要点や論点を具体的に示す。



おんせい
音声コード



おんせい
音声コード

おんせい きさい
この音声コードは、このパンフレットに記載している
もじじょうほう おんせい か かつじぶんしよよみあげそうちとう
文字情報を音声化したものです。活字文書読上装置等
おんせい き
で音声を聞くことができます。

きさい いちれい ほか しょう とくせい おう いしそつうしゅだん ひつやう
記載されているものは一例です。他にも障がいの特性に応じた意思疎通手段や必要な
はいりよ しょう とくせい しょう りかい とも きさい あ
配慮があります。それぞれの障がいの特性については、「障がいを理解し共に支え合
う社会をめざして」～障がいを知るためのガイドブック～をご覧ください。